



びっきー

第23号

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく
生きる生徒の育成

全校朝会より (11月) 「表と裏」の話

11月の全校朝会は、「表と裏」の話をしました。最近、先生や友達の中でも、相手によって態度を変える人がいることを耳にしたり、生徒間で「死ね!」とかの暴言で、相手に不愉快な思いをさせ、トラブルになったりしていたこともあり、話をしました。

マンガやゲーム、SNSなどで「死ね」はどんどん身近な言葉になってきているように思います。(子どもさんがゲームをしている後ろ姿を見て、「死ね!」の発言はないでしょうか?) 最近の言葉は短縮語がもてはやされるようになりました。「やばい」「タピる(タピオカドリンクを飲む)」や「り(了解)」「マ(マジ?)」など一文字で表現するケースもあります。その1つでしょうか? 不愉快な思いをしたとき、イライラしたときを『死ね』の一言で片づけてしまっているような気がします。前半の単なる短縮語と違い、「死ね」は思わぬ誤解を招くとともに、想像以上に相手を傷つけてしまうことをわかっているのでしょうか? そういうこともあり、本校の生徒には「死ね」と言うことを使ってほしくなかったのです。全校朝会で話をしました。

裏表のある人

人によって態度や付き合い方を変える人

1

- 【例】 ○怖い先生の言うことは聞かぬが、優しい先生には反抗的な人
(母親、祖母には反抗的)
- 人前ではニコニコしているのに、裏では人の悪口を言う人

裏表をなくすようにしましょう!

- 自分の都合でしか物事を考えない人
- 自分で自分の成長を止めている人
- 表面的な付き合いの友達しかできない人

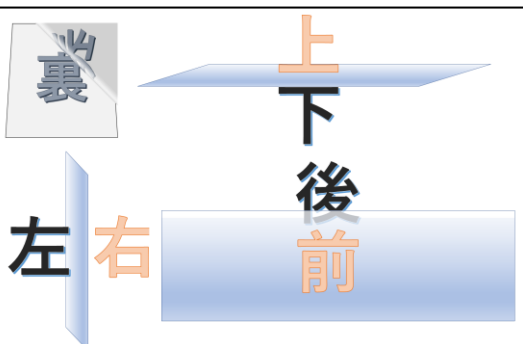


大人社会では通用しない!

1つめの表裏の話です。

「裏表のある人」とは、相手によって態度や付き合い方と変える人のことをいいます。

無意識のうち、そうしてしまう人もいると思うので、周りで気づいてあげたら指摘してあげてください。大人社会では通用しないので、直していくようにしましょう。

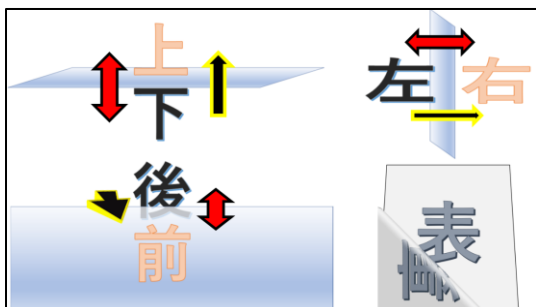


2つめの表裏の話です。

- 「表」の反対は「裏」
- 「上」の反対は「下」
- 「右」の反対は「左」
- 「前」の反対は「後」です。



では、「生」反対は? (…多くの生徒が「死」と言いました。)



「下」の反対は元の「上」に戻るし、「左」も「右」に、「後」も「前」に、「裏」も「表」に元に戻ります。



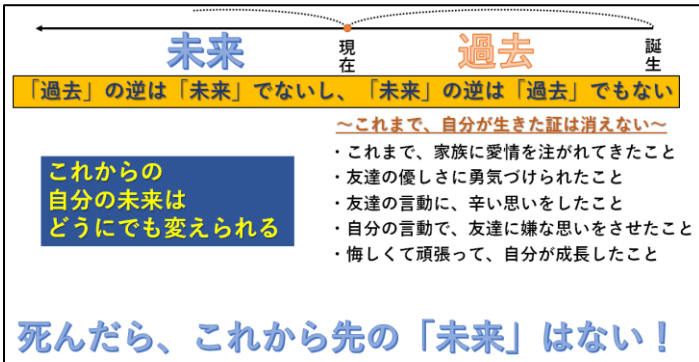
しかし、「生」の反対が「死」なら、「死」の反対は「生」にならない(死んだものは生き返らない)から、「生」の反対は「死」でないことになります。



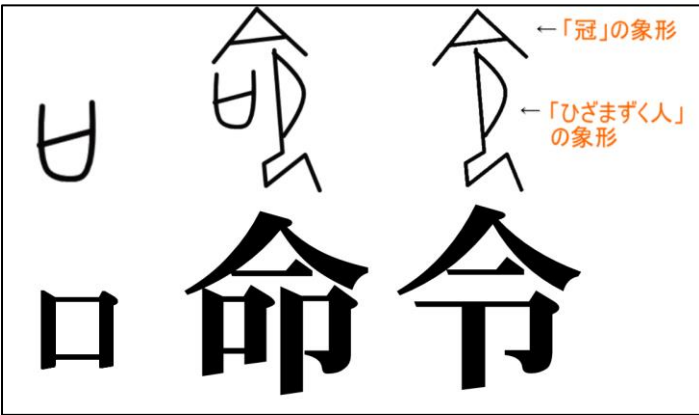
死ぬことでは決してない!

生まれてこない

つまり、「生」の反対は「死」ではなく、「生まれてこない」ことだと私は思います。



また、「過去」の逆は「未来」でもないし、「未来」の逆は「過去」でもない。これまで自分が生きてきた証は消えないし、これからの自分の未来はどうにでも変えられる。「未来」は「現在」を拠点に「過去」を繰り返すわけでもないし、「未来」は自分の「過去」を元に新たに作り出すものです。



2, 3年生は以前話をしたので、聞いたことがあると思いますが、「命」とは、「令」と「口」が合わさった漢字で、「令」は、帽子をかぶりひざまずいて、神のお告げを受ける人の形をあらわしており、口は、神からのお告げを入れる器をあらわしています。神さまや仏さまに誓いを捧げ、神様や仏様のお告げとして与えられたものが命という意味です。

つまり、あなたの命は、神さまや仏さまからいただいたと同時に、遠い祖先から守り継がれ親から渡された命です。

ところで、地球上で最も数の多い生物は何だと思いますか？それは昆虫です。地球上の植物を含めた全生物の半数以上を昆虫が占めるそうです。そんな昆虫など多くの生物の命が地球上に生存する中、私たちは偶然、人として命を与えられ、多くの人に出会い、多くのことを学び、多くの人々に感謝することができます。一人の命が終えると、多くの人々が悲しみます。自分一人では生きていないのです。多くの人がつながり合って生きています。

あなたたち一人一人は、幸せになるために生まれてきたのです。ましてや、この鼓動を、決して自分で終わらせては絶対いけない命なのです。与えられた命を一生懸命生きてください。



「死ね」という言葉は、これからいくら流行っても、ゲームやSNS上で流行っても人に言わないこと！他人から言われる権利は、絶対ない言葉です。

「生」の反対は「死」でない。裏返せない！ゲーム上のバーチャルの世界でない現実を私たちは生きています。この先、時代がどう変化しても、人の命の重さはいつの時代も変わらないはず！「死ね」という言葉は、君たち江北中学校出身の人は絶対使わないと約束してもらいたいと思います。